



明治中期
日本水難救済会創立者
元金刀比羅宮宮司
ことおひろつね
琴陵宥常銅像
明治維新後の近代日本の
黎明期に、金毘羅大権現を
金刀比羅宮と改め、御本宮
再営や琴平山博覧会を
開催し、晩年には海の信仰を
掌る金刀比羅宮宮司として
日本水難救済会を創設する
など、強固な信念で今日の
金刀比羅宮の礎を築いた
宮司である。

金陵

清酒 金陵

像君肅陵



